個人情報漏えいによる被害を防ぐために

昨今、事業者等への不正アクセスによる個人情報の漏えい等が発生しています。
流出した個人情報の悪用や被害を防ぐため、以下の６つのポイントを確認しましょう。

被害防止のための６つの対策

IDやパスワードを変更しましょう

流出したIDやパスワードは、すみやかに変更しましょう。
パスワードは、他人に推測されにくくできる限り長いものとし、使い回しは避けましょう。



多要素認証を利用しましょう

スマートフォン認証やワンタイムパスワードなど、複数の方法で本人確認を行う「多要素認証（MFA）」を利用しましょう。



パスキーを活用しましょう

指紋認証や顔認証、端末の暗証番号などで本人認証ができ、フィッシング耐性を有する「パスキー」を使ってログインしましょう。



利用明細をこまめに確認しましょう

クレジットカード、キャリア決済、インターネットバンキングの利用明細はこまめに確認し、身に覚えのない利用がないかチェックしましょう。



メール等に記載のURLに注意しましょう

フィッシング詐欺の可能性があります。メール等に記載のURLは安易に開かず、正規サイトや正規アプリからアクセスしましょう。



「警察庁推奨アプリ」を活用しましょう

詐欺電話を自動でブロックする機能などがあり、特殊詐欺被害防止に有効です。



無料

警察庁推奨アプリのダウンロードはこちら

少しでも不安に思ったら、一人で悩まずに

消費者ホットライン 188

または最寄りの消費生活センター等に御相談ください。



解決のヒントと相談窓口が見つかる
消費者トラブル解決ナビ

トラブル解決のための方法やヒントを調べることができるＦＡＱを提供しています。
「**個人情報流出**」に関するＦＡＱはこちらから　⇒

消費者庁 Consumer Affairs Agency, Government of Japan
警察庁 National Police Agency
独立行政法人 国民生活センター NATIONAL CONSUMER AFFAIRS CENTER OF JAPAN